

9/28 (土)

午前10時～正午

交流プラザ第1研修室

30人 [要申込]

よみがえった！

古代のボードゲーム

かりうちで遊ぼう！

「かりうち」とは、奈良時代に流行した双六に似たボードゲームで、土器や瓦に描かれた盤面と、「かり」と呼ばれるサイコロの代わりに投げる棒を用いて遊びます。

平城宮・京をはじめ日本各地の奈良時代の遺跡で出土した土器や瓦に、共通する円形の記号が描かれたものがあることに奈良文化財研究所の研究員が気づき、これが「かりうち」の盤面であることが2015年に解明されました。そして、韓国の遊び「ウンノリ」を手がかりに、失われた奈良時代のボードゲームの道具やルールを復元、現代のゲームとしてよみがえったのです。

前半

かりうちで遊ぼう！

奈良時代に大流行し、当時の役人たちも熱中したという「かりうち」。復元されたボードゲーム「かりうち」で古代の遊びを体験しましょう！

今回使用するかりうちキットは、奈良文化財研究所と文化財活用センターのアウトリーチプログラム「かりうちプロジェクト」を活用、ご提供いただきました。

後半

史跡大御堂廃寺跡
現地解説

特別展「大御堂廃寺～仏教の華ひらくはじまりの寺～」をより深く理解していただくために、現在、整備が進む史跡大御堂廃寺跡の現地解説を行います。

野外での活動となりますので、暑さ対策等の準備をお願いします。

